

## 「吉野川市こども計画(素案)」について意見募集に対する結果

### 1. 募集結果

募集期間	令和8年2月16日(月)～令和8年3月16日(月)
意見等提出者数	1人
提出件数 (提出方法内訳)	1件 郵便 0通、FAX 0通、E-mail 1通、直接持ち込み 0通
意見等の反映状況	A 意見等を計画等に反映するもの 1件
	B 意見等が既に反映されているもの 1件
	C 意見等を今後の参考とするもの 1件
	D 意見等を反映する見込みのないもの 1件

※提出いただきましたご意見等については、今後の参考意見とさせていただきます。

### 2. 意見等の分類

項 目	件 数
「吉野川市こども計画(素案)」に関する意見	1件

### 3. 提出された意見等と吉野川市の考え方

「吉野川市こども計画(素案)」に関する意見等と吉野川市の考え

NO	意見等の概要	吉野川市の考え方	反映
1	<p>吉野川市のこどもたちが世界へ羽ばたくきっかけを作る具体的な施策として、市内の各学校への「オブスタクルスポーツ」の導入および移動式障害物器具「オブスタクルボックス」の設置を提案します。</p> <p>提案理由は、本計画の方向性と本市が持つ独自の強みに基づく以下の3点です。</p> <p><b>1. オリンピック種目採用による「夢」の提供</b></p> <p>吉野川市には日本初の公認コースという世界レベルの環境が既に存在します。学校での導入は、こどもたちが身近に「オリンピック競技」に触れ、「将来に希望を持ち、夢を描ける」機会を創出することに直結します。</p>	<p>現時点では、ご提案いただきました施策を実施する予定はございませんが、今後、施策検討を進めていく際の参考とさせていただきます。</p>	C

	<p><b>2. こどもたちの切実な要望「アスレチック」の高度な実現</b></p> <p>計画の「こどもたちの声」には、アスレチックや動物とふれあえる公園がほしい」という願いが複数回記されています。オブスタクルスポーツはアスレチックを競技として発展させたものであり、こどもたちが求める「身体を動かして挑戦できる遊び場」のニーズを完璧に満たします。また、移動式の「オブスタクルボックス」を活用すれば、大規模な公園整備を待たずとも、各校の既存施設で迅速にこの願いを叶えることができます。</p> <p><b>3. スローガン「Do」と「ウェルビーイング」の体現</b></p> <p>自ら身体を動かし、障害物を乗り越える「Do(動き出す)」の経験は、こどもたちに「社会を動かす力を持つ主体」としての自信を与えます。「自分らしく光り、健やかに育つ」ウェルビーイングの向上と郷土への誇りを育む活動として、これ以上ない施設です。</p> <p>「小さな声が未来を広げる」という理念のとおり、こどもたちの「アスレチックがほしい」という声を、世界に繋がるオリンピック競技の導入という形で実現していただけることを強く期待しております。</p>	
--	--	--